

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価																			
		2009	2010	2011	2012	2013															
1. 学生の学習成果を継続的に把握するための方策の検討と情報交換の場を設ける。	→ 「学部のカリキュラムの教育成果を継続的に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」	B	B	B	B	☆															
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <thead> <tr> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table>					2009	2010	2011	2012	2013	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2009	2010	2011	2012	2013																	
→	→	→	→	→																	
→	→	→	→	→																	

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	学部最初の卒業生となる2012年度（完成年度）の卒業予定者に対して、適切な卒業判定を行う方法を各学科会議で検討し、教授会で決定して、実施した。また、幼稚園教諭・保育士養成課程担当者会のワーキングで、カリキュラム内容が学習成果に結びついているかどうかを学生が自己評価することのできるチェックリストを2011年度に作成したが、これを学部の履修カルテの内容に活かすよう工夫し、2012年度の教職実践演習の授業で試験的に使用している。今後、この履修カルテの内容について、さらに検討する考えである。
備考	